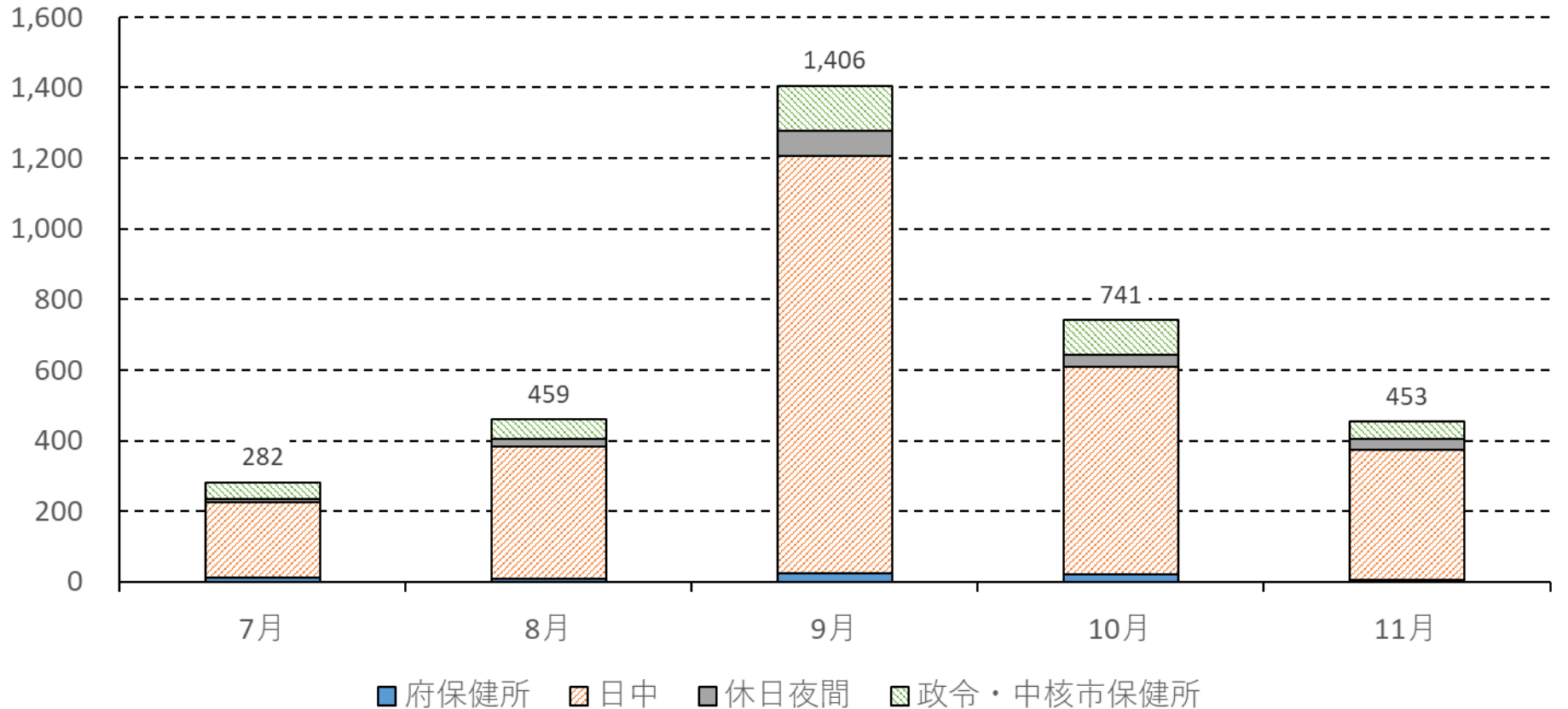


大阪府における後遺症相談件数の推移 (令和4年1月14日現在)

政令・中核市含む後遺症相談件数 (令和3年7月8日～11月30日)

N=3,341



※日中及び休日夜間：大阪府新型コロナ受診相談センターで受けた相談件数

大阪府新型コロナウイルス受診相談センターにおける後遺症相談の概要

◆相談者の属性

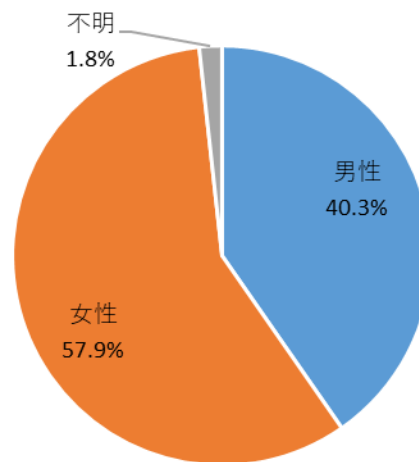
集計期間：

令和3年7月8日～10月31日

相談件数：2,455件

※相談件数は、大阪府新型コロナウイルス受診相談センターで受けた相談の内、後遺症に関する具体的な相談を受理した件数

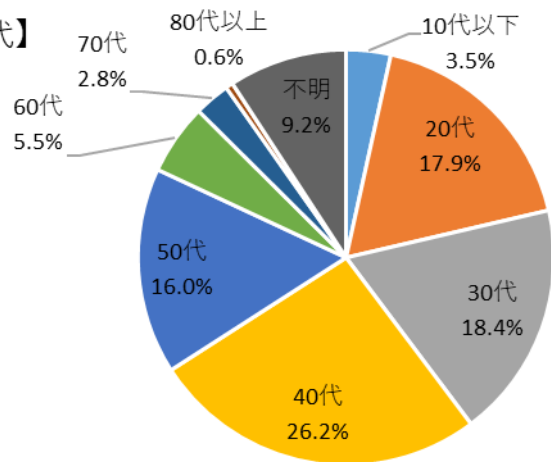
【性別】



n=2455

不明を除き、相談者は6対4で女性が多い

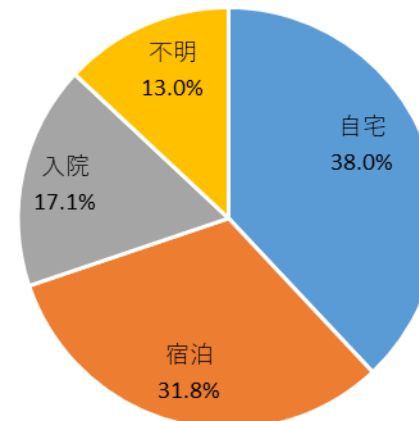
【年代】



n=2455

全体の約8割を50代以下の方が占める

【療養区分】



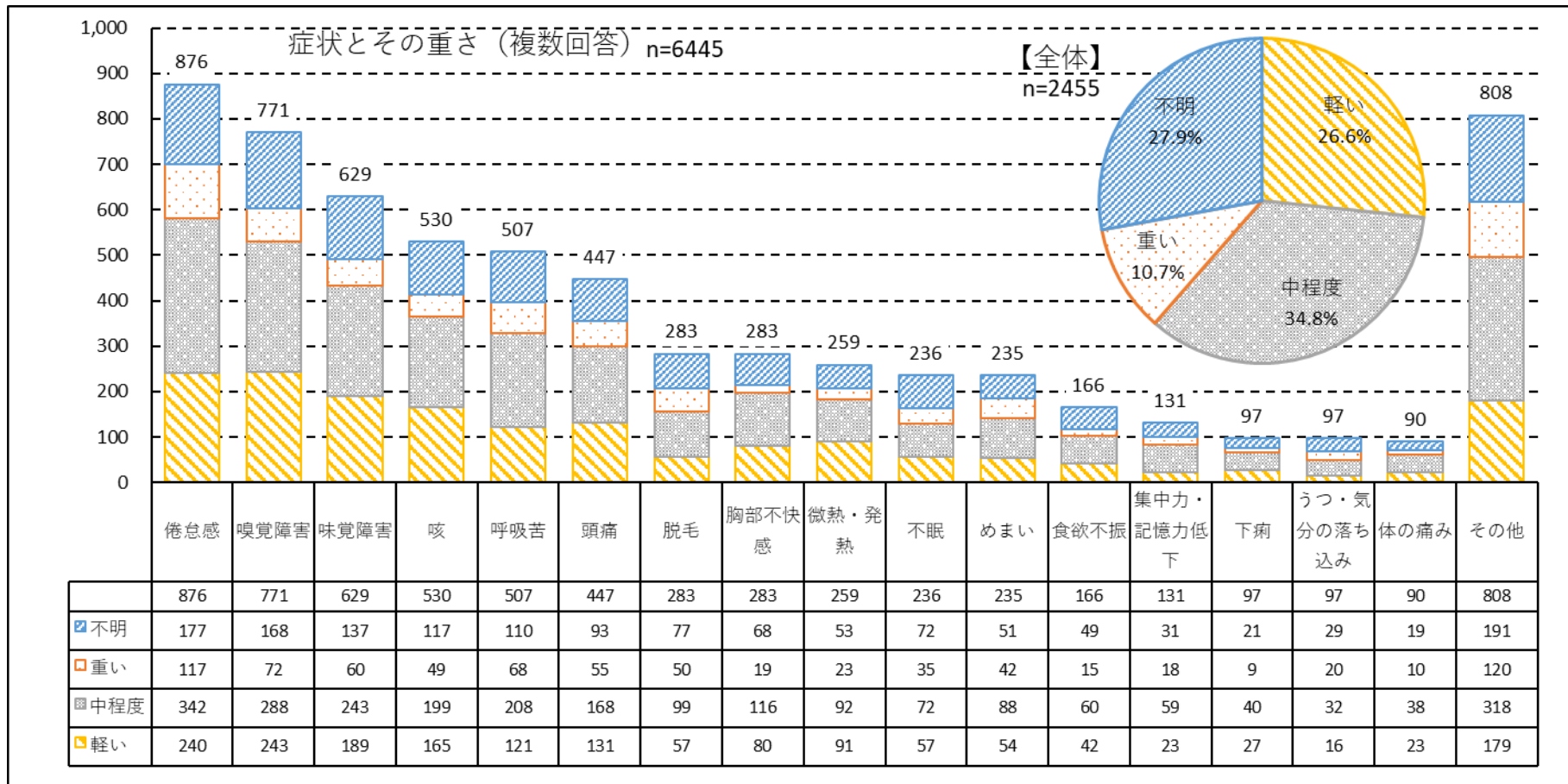
n=2455

自宅・宿泊療養者が入院療養者よりやや多い

大阪府新型コロナ受診相談センターにおける後遺症相談の概要

◆主な症状とその重さ

症状は倦怠感、嗅覚障害、味覚障害、咳、呼吸苦の順で多く、その他多岐にわたる症状の訴えがある。



その他症状

筋肉痛、動悸、関節痛、おう吐・吐き気、鼻汁・鼻づまり、手足の震え・しびれ・冷え、胃部不快感・腹痛、咽頭痛、発疹 など

大阪府新型コロナ受診相談センターにおける後遺症相談の概要

◆年代別の主な症状

10代以下、30代で嗅覚障害、40代以上で倦怠感が一番多く、60代以下ではこの2症状で1・2位を占める。70代では脱毛、80代以上では咳が他世代と比べて多い傾向。その他味覚障害、呼吸苦が多い。

年代		1位		2位		3位	
10代以下	N=212	嗅覚障害	16.5%	倦怠感、味覚障害	14.6%	頭痛	9.0%
20代	N=1267	倦怠感	13.7%	嗅覚障害	13.2%	味覚障害	10.7%
30代	N=1288	嗅覚障害	13.0%	倦怠感	12.7%	味覚障害	10.1%
40代	N=1821	倦怠感	13.2%	嗅覚障害	11.5%	味覚障害	9.4%
50代	N=1053	倦怠感	14.4%	嗅覚障害	11.3%	味覚障害	9.7%
60代	N=340	倦怠感	14.4%	嗅覚障害	10.0%	呼吸苦	8.8%
70代	N=139	倦怠感	15.1%	脱毛	11.5%	呼吸苦	9.4%
80代以上	N=44	倦怠感	20.5%	咳	9.1%	味覚障害、脱毛、不眠	6.8%
不明	N=281	倦怠感	12.8%	嗅覚障害	11.0%	呼吸苦	9.6%